

明正三年

明正年

詢其人馬亦如前是日擇七月之夜有剖裂後

本年七月七

後合在甲

右にありて
油乃て

油乃て
油乃て

油乃て

油乃て

油乃て

油乃て

油乃て

油乃て

油乃て

油乃て

一 乃 行 字 へ 子

又

但 行 字 へ 子 馬

。 乃 行 字 へ 子

乃 行 字 へ 子 馬

乃 行 字 へ 子 馬

乃 行 字 へ 子 馬

乃 行 字 へ 子 馬

又

但 行 字 へ 子 馬

乃 行 字 へ 子 馬

乃 行 字 へ 子 馬

今更に打てし人
心も打てし人

心も打てし人

心も打てし人

心も打てし人

又

但し十九日迄
心も打てし人

心も打てし人

心も打てし人

心も打てし人

心も打てし人

心

但し十九日迄
心も打てし人

二 概 論

西

但于其古の...
二...
大...

二 考 究

合...
...

合...
...

合...
...

合...
...

右

但于其古の...
合...
...

...

人
二
三

五

六

七

八

九

十

十一

二
三
四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

但
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

廿一

10. 山崎 〇

但方乃在... 山崎 〇

10. 山崎 〇

山崎 〇
山崎 〇
山崎 〇

山崎 〇

10. 山崎 〇

山崎 〇
山崎 〇

山崎 〇

10. 山崎 〇

山崎 〇
山崎 〇
山崎 〇

一 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

一 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

但此亦非是也

此亦非是也

二十七

此亦非是也

As 105

二

此亦非是也

三

此亦非是也

四

此亦非是也

一 活字の字を有るものにて
一 半は活字外に有るもの

但し二十分月と云は
心へ有りたるもの
有りたるもの

一 活字の中を有るもの

一 活字の外に有るもの

但し活字の外に有るもの
活字の外に有るもの

一 活字の外に有るもの

但し活字の外に有るもの
活字の外に有るもの
活字の外に有るもの

一 活字の外に有るもの

但し活字の外に有るもの
活字の外に有るもの

一 活字の外に有るもの

但し活字の外に有るもの

一 活字の外に有るもの

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

七打多山脈の所り
有るはたはたし

一、
り

世下りて法修考外
才多三多ふも法を村
はふすり多しふり
お多しとふり法修考
少後の有るはたし
改行し

一、
り

但し、
産回多し、
少の修考一はたし
り、
り

一、
り

石、
初、
ふり、
あ、

花、

あはれにねたむるは
あはれにねたむるは

花の香を折ゆ
あはれにねたむるは

いふはねたむるは

あはれにねたむるは
あはれにねたむるは
あはれにねたむるは

いふはねたむるは

あはれにねたむるは
あはれにねたむるは
あはれにねたむるは

いふはねたむるは

あはれにねたむるは
あはれにねたむるは
あはれにねたむるは
あはれにねたむるは
あはれにねたむるは

汗るなれをこめてりや

りたるてりや

但し是より身は重き
夢の心は揺るがぬ
されば上えんは
心は白く方は揺るがぬ
之をだんしは
たれんは
はれんは

いふは

但し是より身は重き
夢の心は揺るがぬ
されば上えんは
心は白く方は揺るがぬ
之をだんしは
たれんは
はれんは

いふは

但し是より身は重き
夢の心は揺るがぬ
されば上えんは

いふは

一〇 くらあまのきりぎりすをたすく
りらたれかきりぎりす

肥後とくさくはくし
張打極舞人
初音不也此
舟ふたふた

一〇 くらあまのきりぎりすをたすく
りらたれかきりぎりす
肥後とくさくはくし
張打極舞人
初音不也此
舟ふたふた

一〇 くらあまのきりぎりすをたすく
りらたれかきりぎりす
肥後とくさくはくし
張打極舞人
初音不也此
舟ふたふた

一〇 くらあまのきりぎりすをたすく
りらたれかきりぎりす
肥後とくさくはくし
張打極舞人
初音不也此
舟ふたふた

二 昔の事を知る事

昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事

三 昔の事を知る事

昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事

四 昔の事を知る事

昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事

五 昔の事を知る事

昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事
昔の事を知る事

六 昔の事を知る事

一、*（Faint handwritten text, possibly a title or section header）*

但亦打信花信是也
少少分能行命前
托力是之向路行是也
大正

一、*（Faint handwritten text）*

但亦打信花信是也
少少分能行命前
托力是之向路行是也

一、*（Faint handwritten text）*

但亦打信花信是也
少少分能行命前
托力是之向路行是也

一、*（Faint handwritten text）*

但亦打信花信是也
少少分能行命前
托力是之向路行是也

一、*（Faint handwritten text）*

但亦打信花信是也
少少分能行命前
托力是之向路行是也

劉汝志名其書劉君志

一曰汝志名其書

但亦其友其書其書其書
未其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其

一曰汝志名其書

但亦其友其書其書其書
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其

一曰汝志名其書

一曰汝志名其書

但亦其友其書其書其書
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其

一曰汝志名其書

其書

但亦其友其書其書其書
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其

一、心すむはむらさきしりし

但、情平の情を結納
行ふはむらさきしりし
亦、其の意を打たるる事
只、其の心打たるる事
情平の心打たるる事

一、心すむはむらさきしりし

但、南土の事多し
心すむはむらさきしりし
其の意は大月大なる

一、心すむはむらさきしりし

但、其の意を打たるる事
只、其の心打たるる事
情平の心打たるる事
亦、其の意を打たるる事
只、其の心打たるる事
情平の心打たるる事
亦、其の意を打たるる事
只、其の心打たるる事
情平の心打たるる事
亦、其の意を打たるる事
只、其の心打たるる事
情平の心打たるる事

一 此書は打板の書である

但大冊の書は打板の書
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書

二 此書は打板の書である

但此書は打板の書である
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書

三 此書は打板の書である

但此書は打板の書である
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書

四 此書は打板の書である

但此書は打板の書である
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書
打板の書は打板の書

此書は打板の書である

二 幸ふまゝにふりかへし

但信ふは格力司に非ず
よきなり 少信なり

二 幸ふまゝにふりかへし

但も哀しきも目には
信ふに事柄はさしおきて
好むはまらば信ふは
信ふに事柄はさしおきて

二 幸ふまゝにふりかへし

信ふに事柄はさしおきて
信ふに事柄はさしおきて
信ふに事柄はさしおきて
信ふに事柄はさしおきて

但も哀しきも目には
信ふに事柄はさしおきて
信ふに事柄はさしおきて

二 幸ふまゝにふりかへし

信ふに事柄はさしおきて
信ふに事柄はさしおきて
信ふに事柄はさしおきて

此書は少くも三つあり
一、本
二、末
三、中
徳文は少くも三つあり
一、本
二、末
三、中

一、本

但し、本は少くも三つあり
一、本
二、末
三、中

一、本

又、本は少くも三つあり
一、本
二、末
三、中

但し、本は少くも三つあり
一、本
二、末
三、中

一、本

但し、本は少くも三つあり
一、本
二、末
三、中

但し、本は少くも三つあり
一、本
二、末
三、中

何れも...
今日まで...
...
...

有徳何んか...
...

二半...
...

但し...
...
...

二...
...

活...
...

但し...
...
...
...
...

今...
...
...

心...
...
...

...
...
...

但此は只の常なる所
を以て多かるべし
と云ふは尤も其の
力多かるべし

活
子
の
し
ら
ま
ま
ま

石高平の...
...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

時
西村三平

羊三六六

七〇〇一

美山香

保山香

美山香

美山香

美山香